

青 営 大 号 外
令和6年12月19日

報道機関各位

青森県営農大学校長
(公 印 省 略)

令和6年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会について

本校では、学生の課題解決能力やプレゼンテーション手法等の習得、学習意欲の向上に資するため、2学年の学生が自ら課題を設定し、調査・研究に取り組んだプロジェクト学習の成果発表会、及び1学年の代表学生による意見発表会を、別添開催要領により開催することとしましたので、取材してくださるようお願いいたします。

- 1 日 時 令和6年12月24日(火) 9:30～15:40
令和6年12月25日(水) 9:00～16:30
- 2 場 所 青森県営農大学校 体育館
(〒039-2598 青森県上北郡七戸町字大沢48-8 TEL 0176-62-3111)
- 3 内 容 等 別添開催要領のとおり

報道機関用提供資料	
担当部署	青森県営農大学校
担当者	教務研修課長 下田 有紀
電話番号	0176-62-3111(代表) 0176-62-3112(直通)
所属長	校長 松江 利英

令和6年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会 プログラム

令和6年12月24日(火)

開会式 9:30~9:40

意見発表 9:50~10:30

No	課程	氏名	課題名(予定)
1	畑作園芸	葛西 陽奈子	地元地域の農業を引っ張っていく農業経営者になる!
2	畑作園芸	沼山 愛礼	これが、私の叶えたい願望だ。
3	果 樹	今 咲良	営大に入学して思ったことと将来の夢

プロジェクト発表 第1部 10:40~12:00

No	課程	氏名	課題名(予定)
1	果 樹	赤石 琉太	寒冷紗によるりんご果実の日焼け防止対策と着色管理方法の検討
2	果 樹	太田 空良	ブルーベリーの反射資材利用による果実品質の向上
3	果 樹	小田桐 永和	日本なしの鳥害対策とぶどうの獣害について
4	果 樹	古川 詩月	営農大における葉面散布による大粒系ぶどうの新梢管理の軽減と果実品質向上
5	果 樹	佐藤 秀虎	営農大学校におけるおうとうの垣根仕立て樹の生育について(4年生樹)
6	果 樹	相馬 康汰	りんご「ふじ」と「シナノゴールド」の高密度植わい化栽培における生育比較(定植1年目)

<昼 食> 12:00~13:00

プロジェクト発表 第2部 13:00~14:35

No	課程	氏名	課題名(予定)
7	果 樹	相馬 幸弥	異なる有袋資材によるりんごの果実品質及び日焼け防止効果の検討
8	果 樹	中嶋 柊朔	りんご早生種、中生種の葉とらず栽培による省力化と日焼け対策の検討
9	果 樹	成田 百花	ももの改植に伴う縮伐した既存樹の果実品質と更新樹の生育について
10	果 樹	芳賀 朱蓮	おうとうの新植とりんごわい化への改植の際のシミュレーション
11	果 樹	肥後 誠明	スズメバチによる被害防止のためのトラップ作成とその効果の検討
12	果 樹	松木 直哉	ふじの一発摘葉と品質について~北側と南側の違い~
13	果 樹	山谷 秀斗	営大産りんごを使ったクラフトコーラの開発

プロジェクト発表 第3部 14:45~15:40

No	課程	氏名	課題名(予定)
14	畜 産	伊藤 旭飛	繁殖用に保留する育成牛への調教方法の検討
15	畜 産	須藤 成	飼料の固形化の試みと採食量の検証
16	畜 産	對馬 幸次郎	新牛舎の環境整備
17	畜 産	中川 愛美	黒毛和種子牛の早期離乳による発育への影響と親牛の繁殖機能回復について

令和6年12月25日(水)

プロジェクト発表 第4部 9:00~10:20

No	課程	氏名	課題名(予定)
18	畑作園芸	秋田谷 堅斗	飼料用米品種での水稲疎植栽培による水稲作業の省力化
19	畑作園芸	池田 昶琉	ナスのハウス栽培におけるマルチの種類による地温と収穫量の変化、比較検討
20	畑作園芸	小保内 陽子	農業所得向上を目指した顧客獲得につながる市場戦略と販売手法の検討
21	畑作園芸	川浪 莉玖	側枝を利用した高糖度トマトの栽培方法の検討
22	畑作園芸	菊池 純聖	葉面散布剤がながいもの収量・品質に及ぼす影響
23	畑作園芸	菊地 遥圭	規格外品のピーマンを使った加工品の開発

プロジェクト発表 第5部 10:30~11:50

No	課程	氏名	課題名(予定)
24	畑作園芸	小渡 輝星	青森県における単為結果なすの収量、品質の検討
25	畑作園芸	齋藤 正弥	トマトを使用した加工品の検討
26	畑作園芸	佐藤 葵	いちご栽培におけるハダニ天敵農薬の効果の検証
27	畑作園芸	佐藤 諒之輔	マルチの種類がながいもの生育・収量・品質に及ぼす効果
28	畑作園芸	佐藤 蓮	ねぎ栽培における追肥作業の省力化と環境対策
29	畑作園芸	清水目 亮介	株間によるごぼうの太さの調整とサラダごぼう育成調査(2年目)

<昼食> 11:50~12:40

プロジェクト発表 第6部 12:40~14:00

No	課程	氏名	課題名(予定)
30	畑作園芸	鈴木 一左	ねぎ栽培における追肥作業の省力化
31	畑作園芸	関端 あかり	葉面散布剤がにんにくの収量・品質に及ぼす影響
32	畑作園芸	高木 光	脱プラスチックに向けた新しい緩効性肥料による水稲栽培の導入と慣行栽培との比較調査
33	畑作園芸	高橋 宏輔	簡単に調理ができる即席みそ汁の開発
34	畑作園芸	豊川 碧生	ごぼう栽培におけるプラスチックを使用しない一発肥料の導入と慣行栽培との比較
35	畑作園芸	西野 謙三	高密度播種移植栽培による水稲育苗の省力化について

プロジェクト発表 第7部 14:10~15:30

No	課程	氏名	課題名(予定)
36	畑作園芸	野呂 唯人	とまとだしを利用した減塩についての意識改善
37	畑作園芸	橋本 祐将	中玉、ミニトマトの収量性・管理作業性の良い品種検討
38	畑作園芸	原田 笑幸	米粉を使った「売れる加工品(米粉麺)」の試作と検討
39	畑作園芸	米田 真輝	肥料の違いがにんにくの収量・品質に及ぼす影響
40	畑作園芸	松倉 園珠	夏秋いちご栽培における遮光率の違いによる生育・収量等に与える影響
41	畑作園芸	森 麻衣子	ゴボウ栽培における基肥施肥の違いが収量・品質に及ぼす影響

審査 15:30~16:10

閉会式 16:10~16:30

令和6年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会開催要領

1 目 的

2学年の学生が自ら課題を設定し、調査・研究に取り組んだプロジェクト学習の成果発表を通して課題解決の方法やプレゼンテーション手法等を習得させるとともに、1学年の学生が将来の目標などに関する意見発表を通して学習意欲の向上を図ることを目的として、発表会を開催する。

なお、本発表会は、東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会に出場する代表者の選考を兼ねるものとする。

2 主 催

青森県営農大学校

3 日 時

令和6年12月24日（火）9：30～15：40

令和6年12月25日（水）9：00～16：30

4 場 所

青森県営農大学校 体育館

（〒039-2598 青森県上北郡七戸町字大沢48-8 TEL 0176-62-3111）

5 日 程

【1日目】12月24日（火）			【2日目】12月25日（水）		
開会式	9:30～9:40		第4部	9:00～10:20	畑作6課題
意見発表	9:50～10:30	3課題	第5部	10:30～11:50	畑作6課題
第1部	10:40～12:00	果樹6課題	昼食	11:50～12:40	
昼食	12:00～13:00		第6部	12:40～14:00	畑作6課題
第2部	13:00～14:35	果樹7課題	第7部	14:10～15:30	畑作6課題
第3部	14:45～15:40	畜産4課題	審査	15:30～16:10	
			閉会式	16:10～16:30	講評・表彰

6 概 要

(1) 発表課題数

ア プロジェクト発表 41課題（畑作園芸課程24、果樹課程13、畜産課程4）

イ 意見発表 3課題

(2) 発表課題名及び発表順序

令和6年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会プログラムによる

(3) 発表時間

ア プロジェクト発表 1課題12分（発表10分、質疑2分）

イ 意見発表 1課題10分（発表8分、質疑2分）

(4) 発表方法

ア プロジェクト発表

- ・パワーポイント (Microsoft Office Power Point 2019) による発表とする。
- ・画面は4：3とし、動画の利用は時間内で行う。

イ 意見発表

- ・口演とする。

7 審査員

審査員長：上北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室長

審査員：構造政策課担い手育成グループマネージャー

地方独立行政法人青森県産業技術センター野菜研究所栽培部長

地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所県南果樹部長

地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所繁殖技術肉牛部長

野辺地地区農業士会会長

かみきたViC・ウーマンの会会長

営農大学校長

営農大学校教頭

8 審査報告及び講評

審査員長が行う。

9 表彰

(1) プロジェクト発表

最優秀賞：1 課題

優秀賞：2 課題

努力賞：3 課題以内

(2) 意見発表

最優秀賞：1 課題

優秀賞：1 課題

努力賞：1 課題

10 令和6年度東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会への代表者選考

(1) プロジェクト発表

上位得点3課題を本校代表とする。

(2) 意見発表

上位得点2課題を本校代表とする。

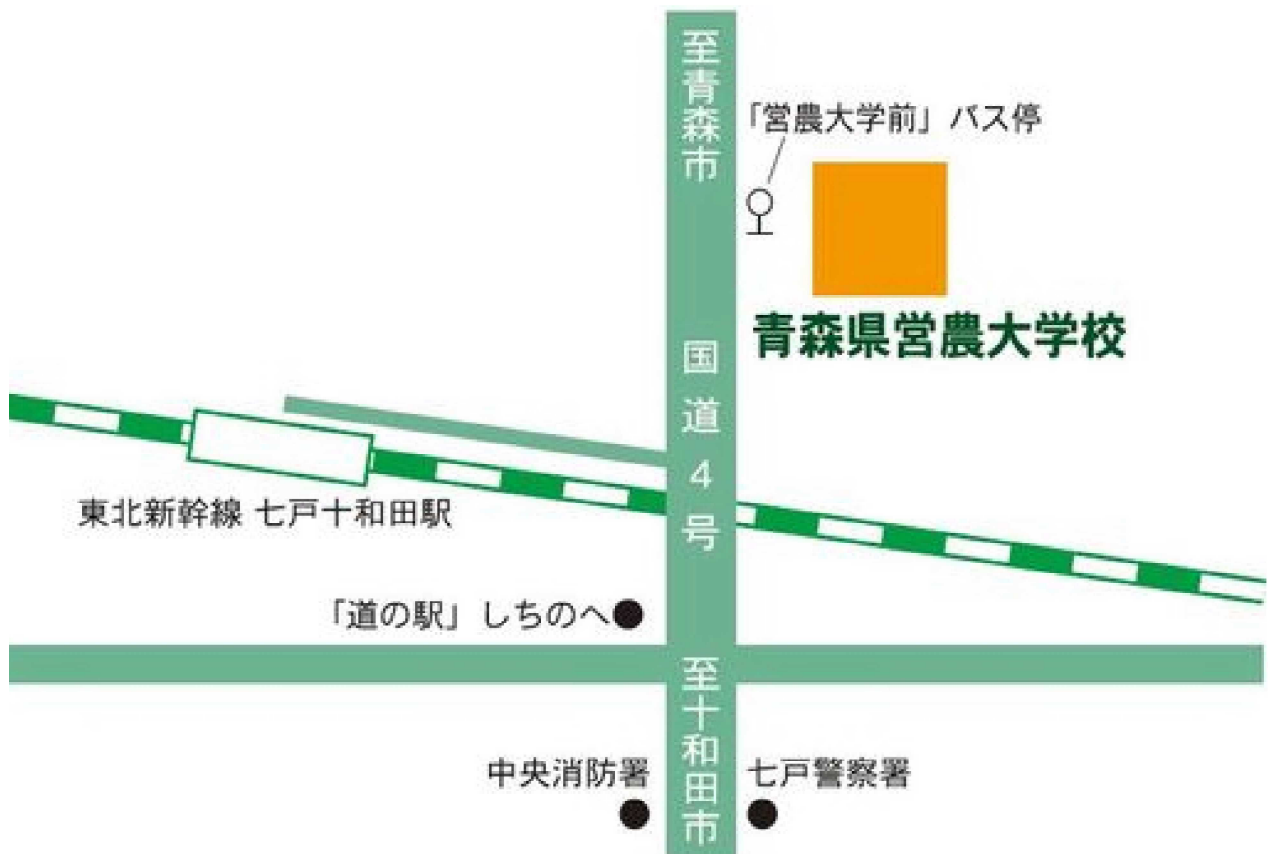
11 参集範囲

保護者、令和6年度学校関係者評価委員、外来講師、令和6年度農家実習受入農家、親元又は自営就農予定学生出身市町村、出身高等学校、農業協同組合、地方独立行政法人青森県産業技術センター、県関係機関 等

青森県営農大学校 案内図

所在地 青森県上北郡七戸町字大沢48-8

電話 0176-62-3111



※東北新幹線七戸十和田駅（北口）から、徒歩8分

※十和田観光電鉄バス「営農大学前」バス停から、徒歩1分